

2024（令和6）年度ケーブルテレビ栃木 放送番組審議会議事録

（栃木チャンネル）

1. 令和7年2月10日(月) 14時～15時
2. 開催場所 ケーブルテレビ株式会社 本社大会議室
3. 出席委員 審議委員総数 10名 出席委員数 10名（随行1名）

■出席者（敬称略）

大川 秀子 会長（栃木市長）
膝附 武男 副会長（栃木商工会議所 副会頭）
藤崎 英治 委員（大平町商工会 会長）
伊藤 邦夫 委員（藤岡町商工会 会長）
小倉 久緒 委員（岩舟町商工会 会長）
三室 一男 委員（都賀町商工会 会長）
山岸 弘幸 委員（西方商工会 会長）
岸本 俊彦 委員（栃木警察署 署長）
上岡 健司 委員（栃木市消防本部 消防長）
柳田 和子 委員（栃木市女性団体連絡協議会 会長）

■ケーブルテレビ株式会社 出席5名

高田 光浩（代表取締役社長）
今泉 勉（コンテンツ部地域プロモーション課課長）
安生 恵子（コンテンツ部地域プロモーション課課長代理）
田部井 肇子（コンテンツ部地域プロモーション課係長）
小林 満那子（コンテンツ部地域プロモーション課主任）
麥倉 和充（コンテンツ部地域プロモーション課主任）
片岡 宗介（コンテンツ部地域プロモーション課主任）

4. 報告事項

【全体】

- （1）新委員の委嘱に関する報告
- （2）放送エリア及び加入状況に関する報告
- （3）ケーブルテレビ(株)の取り組みに関する報告

【コミュニティチャンネル関連】

- (1) 2024年度の取り組み
- (2) チャンネル構成
- (3) 主なレギュラー番組
- (4) 主な特別番組

質問・回答

1 加入状況に関する質問

【委員】 茂木町のTV利用率が93.1%と高いが、その理由は？見習わねばならない。

【CATV】 山間部の茂木町は、アンテナでのテレビ視聴が難しい電波難視地区で、もともと町営の有線テレビ局があったため、加入率が高い。今回、旧施設を光ファイバー化するにあたり、指定管理者として当社が関わり、多チャンネルやインターネットサービスも展開している。

5. 議事

- (1) ご視聴番組に対してのご意見・ご質問

1・2 とちぎ百景 とちぎ秋まつり(昼の部・夜の部)

【委員】 数字のテロップに見にくい部分があった。

【CATV】 フォントや大きさなど文字の読みやすさを心掛けてまいります。

【委員】 豪華絢爛な山車の4K撮影映像は、鮮明で臨場感があり、「ぶっつけ」はまるで目の前で見ていたかのようなようだった。小学生も参加し、栃木市のみんなで盛り上げているまつりだと感じられた。

【委員】 子どもたちが元気で活力ある姿は、見ている側も気持ちがよい。子どもの映像は多ければ多いほうがよいなと思った。

【CATV】 お子さんが楽しそうにまつりに参加している姿は、見ていてほほえましく、活力をいただける部分だと思っている。今後も、いきいきと活躍するいろんな子どもたちの姿をしっかりと放映していきたい。

3 とちぎHOTステーション

【委員】 中継リポートがあったが、栃木市は他にも豊富に果物が生産されており、PRにつながるので今後も続けてほしい。

【委員】 番組を見て実際に買いに行こうと思ったときに、どこで買えるか、わかりにくかった。地元だけでなく、ほかの地域の人にもわかりやすい放送を。

【委員】 駐在所だよりの話題。署員が一軒一軒、詐欺にご注意と家をまわって注意喚起する姿が放送された。栃木市全域でやってほしいと思った。

【委員】 中学校の部活動の地域移行が進んでいる。子どもたちと学校、地域の指導者の関わりをもっと取り上げてほしい。

【委員】 イベント名や場所など、文字テロップを効果的に活用したほうがよいと思った。

【CATV】 視聴者に寄り添った番組作り、テロップ表示を心掛けていきたい。

4 栃木シティ 2024 紺白の勇者たち

- 【委員】 ベンチ裏の様子まで撮影できていたのはCATVならではの地域密着の取材ができていて、すばらしいなと思った。
- 【委員】 栃木シティには更に上を目指してもらいたく、ケーブルテレビはその機運を盛り上げてほしい。市民に永続的に応援してってもらいたいと思う。
- 【委員】 「スポーツの力で市を盛り上げる」という点で、栃木市とシティは一致しているが、ボタンのかけちがいが生じている。その辺の報道が難しいと思うが、ケーブルテレビはどう放送していくのか。
- 【CATV】 今後も地域のスポーツクラブとして応援していく立場で放送していく。せっかく J3 にあがったので、J2 目指して市民の方に応援を、という放送に徹していきたいと思う。
- 【委員】 サッカーのみならず、野球、アイスホッケー、バスケットなど、スポーツは若者の一体感、地方の活性化につながる。選手のほかにも、応援する側を取り上げることで、若者の力、ヤル気につながると思う。
- 【CATV】 サッカーだけでなく、この地域はもともとたくさんのスポーツが活発に行われていた。そうした地域性に目を向け、さまざまなスポーツを平等に取り上げていければと思う。地元こんな活躍している人がいるということをお伝えし、地域が元気になる番組を作っていきたい。

5 突撃インタビュー

- 【委員】 新しいリポーター、最近目にするようになった。新しい取り組みか？
- 【CATV】 突撃インタビュー自体はかつて放送していた番組で、昨年 10 月から復活し、新人アナウンサーが担当している。
- 【委員】 西方という地域のあたたかさを感じる番組内容だった。地域のまつりでのインタビューは、地域の活性化につながると思う。ぜひ継続を。

(2) コミュニティチャンネルに関してのご意見・ご質問

- 【委員】 交通防犯関連の取材では日々お世話になっている。着任時に就任インタビューを受けたが、初めてお会いした方にも「番組を見た」と声をかけられ、地元密着のチャンネルであることを実感した。

以上